

● 特集

日本の町村初
箕輪町が安全・安心なまちづくりの世界認証
セーフコミュニティ認証を取得

「セーフコミュニティ」とは？

事故やけがは偶然の結果起きるのではなく“予防できる”という考えのもと、地域住民と行政や各種団体がそれぞれの垣根を越え、安全で安心なまちをつくらうという取り組みです。この取り組み内容が自治体として認められると、「セーフコミュニティ」の認証が与えられます。

2012年5月12日、WHO（世界保健機関）協働センターの認証「セーフコミュニティ」を取得し、認証式典が行われました。

この度の認証で箕輪町は、世界で274番目、日本国内では4番目となるセーフコミュニティとして、世界的に認められたこととなります。

安全・安心なまちづくりに終わりはありません。この認証を誇りに住みよいまちを目指し、新たな一歩を踏み出しましょう。

ごあいさつ

近年、住民生活の安全・安心が、行政の優先度の高い課題として認識され、地域住民、警察、学校等との連携・協働による問題解決が重要であると考えられています。また、私自身、町民の生命・身体・財産を守ることが行政を預かる者の最も重要な役割であると考えております。

このような中、箕輪町は、安全・安心なまち「セーフコミュニティ」の実現を自治体運営の最重要課題と考え、2009年12月に地域住民の皆さんと共に安全・安心なまちづくりを推進するため、セーフコミュニティ認証取得の取り組み宣言を行い、町民の皆さんや関係機関・団体との協働のもと「セーフコミュニティ」づくりに取り組んでまいりました。

これからも、認証取得を更なる安全・安心確保の取り組みの出発点として、「セーフコミュニティ」活動の継続・拡充を図り、「協働のまちづくり」の仕組みの中で、科学的視点から安全向上に取り組み、町民の皆さんと共に「世界に誇る安全・安心の町」、「住んでいて良かった」「住んでみたい」町、箕輪町を創りあげていきます。



箕輪町セーフコミュニティ推進協議会会長
箕輪町長 平澤 豊満

セーフコミュニティ取り組み経過

2009年12月に取り組み宣言を行い、推進協議会を立ち上げ、5つの対策委員会を設けて協議を重ねてきました。2年半に及んだ認証までの経過を紹介します。

年・月・日	主要事項
2009.12.14	12月議会でセーフコミュニティ取り組み宣言
2009.12.15	WHO「地域の安全向上のための協働センター」にメンバー登録
2010.2.20	第1回セーフコミュニティ推進協議会 開催
2010.4.1	役場総務課内に推進プロジェクトチーム 設置
2010.7.24	セーフコミュニティフォーラム2010 開催
2010.8.27	第2回セーフコミュニティ推進協議会 開催
2010.8.27	セーフコミュニティモデル地区 指定
2011.1.31	第3回セーフコミュニティ推進協議会 開催
2011.4.1	セーフコミュニティ推進室 設置
2011.5.20	第4回セーフコミュニティ推進協議会 開催
2011.6.7~6.9	セーフコミュニティプレ審査 実施
2011.7.23	セーフコミュニティフォーラム2011 開催
2011.10.12	セーフコミュニティモデル校 指定
2011.11.29	第5回セーフコミュニティ推進協議会 開催
2011.12.20	セーフコミュニティ認証申請書 提出
2012.1.31~2.1	セーフコミュニティ現地審査 実施
2012.5.12	セーフコミュニティ認証



対策委員会



推進協議会

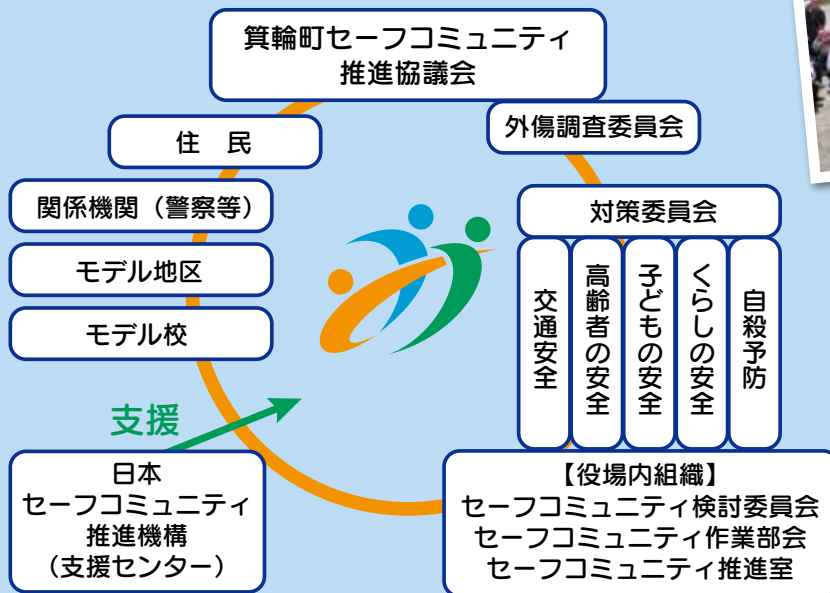


モデル校の取り組み



外傷調査委員会

セーフコミュニティ組織図



セーフコミュニティフォーラム2010



セーフコミュニティフォーラム2011



セーフコミュニティ現地審査



箕輪町セーフコミュニティ認証式典

5月12日、伊那プリンスホテルで箕輪町のセーフコミュニティ認証式典が開催され、平澤豊満町長と、世界保健機関（WHO）アジア地域認証センターのチョウ・ジュンピル所長ら7人が合意書に署名しました。式典には、阿部守一知事、佐々木真郎県警本部長、認証自治体関係者ら約200人が出席。セーフコミュニティの認証を祝いました。



署名式



チョウ・ジュンピル所長による認証報告

セーフコミュニティ認証取得を受けて、箕輪町セーフコミュニティ推進協議会から、高齢者の安全対策委員会 委員長の鈴木誠さん、モデル地区である北小河内セーフコミュニティ協議会・副会長兼事務局長の藤森清治さんに、これまでの取り組みや状況、今後の抱負などについてお話を伺いました。

北小河内セーフコミュニティ協議会（KSC）では、「安全・安心なまちづくりはコミュニケーションから」という考えのもと、町が目指す「セーフコミュニティ」のモデル地区として、さまざまな活動を展開してきました。

例えば、高齢者とのふれあい会を定期的に開催し、現在では総勢100人近くが集まるようになりました。遊具の修理や植樹など区民の憩いの場として整備を始め

北小河内セーフコミュニティ協議会



副会長兼事務局長
藤森 清治 さん

高齢者の安全対策委員会では、まず、高齢者にとつての安全とは何か？を知るために、これまでなかったデータの収集から始めました。ヒヤリ、ハット、けがをした：など高齢者の危険体験をアンケートした結果、家庭内での転倒や、定年後始めた外仕事や農作業などの慣れない環境だけが骨折をする人が多いことがわかりました。

高齢者の安全対策委員会



委員長
鈴木 誠 さん

その結果を細かくチェックしながら作り上げたのが「安全・安心の知恵袋」です。内容は当たり前ですがほとんどですが、だからこそ気をつけたいポイントが盛り込まれています。大切なのは、体力、健康、生活環境など、今の自分“を知ることです。今後は、悪徳商法など日々巧妙になつていく手口に対応できるように、心の安全への取り組みが課題です。また、高齢者をひとくりにせず、年代に応じた安全対策などを考えています。

セーフコミュニティの認証取得は「安全・安心なまちづくり」のまだまだ準備段階です。みんなが健康で元気、「箕輪町に住みたい」と思ってもらえる安全・安心で健康な町にしていきたいですね。

た公園には、多くの子どもが遊びにくるようになり、今年度は東屋の設置などを予定しています。2006年の土砂災害以来の懸案であった災害対策工事も昨年完了し、区民による視察を計画しています。何事も自分のためと思つて行動を起こすこと、そして継続することが大切です。それはやがて人のため、世のためとなつて、自分に戻ってくるものです。北小河内区では、そういった意識改革から「安全・安心」の根本である「コミュニティ」ができてきました。町が世界的にセーフコミュニティとして認められたことは誇りですが、ここからがスタートです。次世代につながる活力あふれるまちづくりを目指します。



土橋静代さん・大橋幸子さんから贈呈された作品



認証記念盾の授与



町長あいさつ



長野県警察音楽隊による認証記念演奏会



セーフコミュニティ旗の授与

セーフコミュニティの認証取得にあたって

セーフコミュニティ推進室室長 向山静雄

5月12日の認証式典における合意書署名で、安全・安心なまちづくり「セーフコミュニティ」が認証となりました。町民の皆様を始め関係機関・団体の皆様に御礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願いする次第です。

認証式典の間、私の脳裏には昨年4月役場内に設置されたセーフコミュニティ推進室での取り組みが次々と駆け巡りました。感激でありました。当初からセーフコミュニティの活動に取り組まれた皆様においては、その感激は私以上であろうとの思いを巡らせ、その御労苦に対し敬意を表させていただきます。

さて、セーフコミュニティ活動における認証は、取り組みの仕組みが認められたものであり、今後の各界各層による継続した協働活動が極めて重要です。仕組みだけ出来ても結果が無ければ意味がなく、その結果に行き着くまでの過程が重要となります。また、安全・安心は常に一定のものではなく、時々の諸情勢により変わるものであり、変わらなければならぬものだと考えます。その意味から継続は重要であり、一旦崩れた安全・安心を回復するには膨大な労力と時間を要するものであります。

式典後の新聞紙面では町民の方からも「安全・安心の町は住民の自覚から」という声をいただき、新たな決意をさせていただきました。今後も試行錯誤の状況があると思いますが、皆さんと共に地域活性化に貢献する安全・安心の確保を目指したいと思っております。どうか皆様のご理解とご支援、そしてご参加をお願いします。

本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。

東小6年生に「わが家のセーフティリーダー」を委嘱しました

「わが家のセーフティリーダー」とは、防犯活動や非行防止活動に参加してもらい、子どもに犯罪からの被害防止意識、規範意識を身に付けてもらうための取り組みです。

今後は委嘱した皆さんに犯罪の被害防止活動、少年の非行防止活動の推進など、家庭や学校で啓発活動を行ってまいります。

防犯川柳

県防犯協会旬刊紙「防犯信州」入選作品

防犯へ鍵黙々と見張り役

唐澤 正十

身を守る心の鍵を子に渡す

大槻 幸子

踏みはずす一歩手前で

篠原佐和子

両親の鞭が後から効いてくる

北澤 幸子

連携が民の暮らしを平穩に

市川よし子

支え合い近所仲よく手をつなぐ

淵井 澄雄

辻に立ち登校見守る父母の愛

大槻 芳子

田舎道不審な人に注意する

細井いち子

自立心育み悪を寄せ付けず

大槻 米子

平穩な日々を夢見る新世紀

上田志ず子